

会 議 録

会議の名称	行田市防災会議
開催日時	平成27年1月29日(木) 開会：10時00分・閉会：10時40分
開催場所	行田市役所 305会議室
出席者(委員) 氏名	工藤正司 大黒 理 渡邊佳子 小野和義 鈴木紀之 小坂高洋 園田誠司 安原康弘 土橋義男 風間祥一 井澤清典 川島将史 小林乙三 竹井英修 小林敏信 小林 修 中村 猛 杉山晴彦 山岸敏秀 児玉敏夫 高内利政 坪井浩二 石田和子 中山 剛 川田英一朗 桜沢勇二 川嶋賢司 上田恭久 木村 誠 加相好章 相原香保留 井上文子
欠席者(委員) 氏名	島澤孝雄 菊地実城
事務局	杉山課長 柿沼主幹 松本主査 大久保主任 福田主事
会議内容	[報告事項] 報告第1号 行田市における災害対応について 報告第2号 行田市における災害対策について [議案事項] 議案第1号 行田市地域防災計画の修正について そ の 他 平成27年度以降の防災対策について
会議資料	(資料名・概要等) ・行田市防災会議資料 ・行田市地域防災計画 新旧対照表
その他必要 事項	傍聴者なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 工藤会長 事務局 工藤会長 事務局	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（会長あいさつ）</p> <p>議題の進行につきましては、行田市防災会議規程第5条第1項の規定により、会長が議長を務める事となっている。</p> <p>3 議 事（議長：工藤会長）</p> <p>（1）報告事項</p> <p>報告第1号 行田市における災害対応について</p> <p>（ア）平成26年2月の大雪における行田市の被害状況及び対応</p> <p>資料1「平成26年2月の大雪における行田市の被害状況及び対応について」を基に行田市の被害状況及び対応を報告した。</p> <p>（イ）平成26年度の災害時の出動・待機状況</p> <p>資料2「平成26年度災害時の出動・待機状況一覧」を基に大雨や台風、地震などによる出動・待機体制の状況を報告した。</p> <p>報告第2号 行田市における災害対策について</p> <p>（ア）平成26年度行田市防災訓練の概要</p> <p>資料3「平成26年度行田市防災訓練実施要綱」を基に説明した。</p> <p>「自主防災組織未設立自治会」を対象として、45団体184名の参加者により、災害時の初動訓練を実施した。また、本年度は、株式会社NTT東日本の協力により「災害時伝言ダイヤル体験」を実施した。</p> <p>（イ）平成26年度自主防災組織リーダー養成講習会の概要</p> <p>資料4「平成26年度自主防災組織リーダー養成講座の開催について」及び資料5「平成26年度行田市自主防災組織リーダー養成講習会実施要項」を基に説明した。</p> <p>本年度は、「自主防災組織リーダー養成講座」を埼玉県と共催で実施した。自主防災組織のリーダーを対象として、106名の参加者により、救出・救護訓練や災害図上訓練DIG等を実施した。</p> <p>また、「平成26年度行田市自主防災組織リーダー養成講習会」については、自主防災組織のリーダーを対象として、2月に実施を予定している。</p> <p>（ウ）平成26年度ジュニア防災研修の概要</p> <p>資料6「平成26年度行田市ジュニア防災研修実施要綱」を基に説明した。</p> <p>埼玉県防災学習センターを会場とし、中学生29名の参加者により、カードを使用した災害対応を判断する「クロスロード」や防災体験を実施し、防災意識の高揚と知識の向上を図った。</p>

<p>工藤会長</p>	<p>(エ) 災害時における災害協定等の状況について</p> <p>資料7「災害時応援協定一覧表」を基に説明した。</p> <p>現在、災害時応援協定等を締結している民間企業は38社となっている。本年度は、新たに民間企業2社と協定を締結した。</p> <p>また、現在、災害時応援協定等を締結している公共機関は12件であり、前回の防災会議以降に締結したものは1件である。</p> <p>(オ) 自主防災組織の設立状況について</p> <p>資料8「自主防災組織（設立数及び設立割合）」を基に説明した。</p> <p>現在の設立数は、186自治会中160自治会となっており、割合は86.0%となっている。</p> <p>前回の防災会議以降に49自治会で新たに設立された。</p> <p>以上、報告第1号及び報告第2号についての説明である。事務局の説明に対し、意見や質問があればお願いしたい。</p> <p>(委員からの意見や質問なし)</p> <p>この案件について特に意見がなければ、ご了承いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 議案事項</p> <p>議案第1号 行田市地域防災計画の修正について</p> <p>資料9「行田市地域防災計画修正概要」及び資料10「新たな避難所・避難場所の区分」、「指定緊急避難場所及び指定避難所一覧表」、「行田市地域防災計画 新旧対照表」を基に説明した。</p> <p>今回の行田市地域防災計画の修正は、災害対策基本法の改正等によるもので24項目となっており、特に重要な「指定緊急避難場所・指定避難所関係」及び「避難行動要支援者関係」についての詳細を説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所・指定避難所関係</li> </ul> <p>「指定緊急避難場所」及び「指定避難所」について、今までは指定基準や概念が市町村毎に異なっており、災害対策基本法の改正により全国で統一された。本市においても従来は、施設の有無により避難所と避難場所を重複せずに別々に指定していたが、今回の修正により「指定緊急避難場所」については、従来の避難場所と避難所を合わせて指定することとした。なお、指定する際は、災害の種別毎に指定することとなった為、地震及び水害（利根川・荒川）毎に判定した。</p> <p>また、「指定避難所」については、従来の避難所を指定することとした。</p> <p>なお、現在、耐震性が満たされていない「大堰永寿荘」及び「南河原荘」については、「指定緊急避難場所」及び「指定避難所」双方の指定から除外することとし、今後、</p>

<p>工藤会長</p> <p>事務局</p>	<p>耐震化工事が完了した際に改めて指定することとした。</p> <p>今回の修正により「指定緊急避難場所」は72箇所となり、「指定避難所」は52箇所となる。</p> <p>今後の予定は、公示及び埼玉県への通知を実施することとなる。</p> <p>・避難行動要支援者関係</p> <p>災害対策基本法の改正により災害時に支援が必要となる障害者や自力で避難が困難な高齢者等の方を対象とした「避難行動要支援者」について、名簿の作成や作成方法、取り扱い方法等を記載した。</p> <p>この修正に併せて、行田市地域防災計画全体で従来の「災害時要援護者」を「要配慮者」に改める。</p> <p>以上、議案第1号についての説明である。 事務局の説明に対し、意見や質問があればお願いしたい。 (委員からの意見や質問なし)</p> <p>この案件について特に意見がなければ、ご了承いただきたい。</p> <p>(3) その他</p> <p>平成27年度以降の防災対策について 資料「平成27年度以降の防災対策について」を基に以下の内容について説明する。</p> <p>[事業]</p> <p>平成27年度に予定している事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行田市防災訓練</li> <li>・行田市自主防災組織リーダー養成講習会（図上訓練・講演会）</li> <li>・行田市ジュニア防災研修</li> <li>・災害時応援協定に係る応援要請伝達訓練</li> <li>・職員対象図上訓練（DIG、HUG、クロスロード等）</li> </ul> <p>[設備等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線更新工事（デジタル化） 平成25年度から27年度にかけて実施し、防災行政無線のデジタル化、屋外拡声子局設備の更新を実施する。</li> <li>・防災備蓄倉庫及び資機材の整備（公民館等） 現在、防災備蓄倉庫を整備済の小中学校等に加え、平成26年度から公民館などの避難所施設に防災備蓄倉庫及び資機材の追加整備を実施しており、27年度も継続する予定である。</li> <li>・備蓄食料の整備（アルファ米・ビスケット保存水等） 地域防災計画に基づき、計画的に整備していく。</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行田市地域防災計画の見直しについて 平成27年度に見直しを予定している。 修正内容は、埼玉県地震被害想定調査結果の反映や埼玉</li> </ul>
------------------------	---

<p>工藤会長</p> <p>井上委員</p> <p>事務局</p> <p>工藤会長 事務局</p>	<p>県地域防災計画において新たに策定された「竜巻災害に対する対策」、「大雪災害に対する対策」等を反映した内容を予定している。</p> <p>以上、今後の取組についての説明である。 事務局の説明に対し意見や質問があればお願いしたい。 (委員からの意見や質問なし)</p> <p>この案件について特に意見がなければ、ご了承いただきたい。</p> <p>以上で本日予定していた議事については、無事に終了することができた。</p> <p>せっかくの機会なので、行田市の防災対策について、意見や質問等あればお伺いしたい。</p> <p>避難所収容人数の想定について、現在の計画では本市の人口の約3割となっている。人口に対する収容人数の割合について、国の指針は有るのか。</p> <p>避難所の収容人数については、上位計画である埼玉県地域防災計画及び埼玉県地震被害想定調査に基づき十分な人数を想定している。 (他の意見や質問なし)</p> <p>以上で行田市防災会議を終了する。</p> <p>4 閉会</p>
--	--